

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
組織能力の向上	中長期的な重点目標の4 「人権教育の推進、環境教育の充実、危機管理体制の強化」 中長期的な重点目標の2 「教育相談・特別支援教育の充実」 (1) 組織能力向上のために、教職員研修を数回計画する。	・障害者差別解消法の成立の経緯や理念、法制度の概要についての研修を実施 ・ISO 内部監査、外部監査を実施し再認証審査に合格。全職員のISO研修を実施 ・職員交通安全教育研修を実施 ・スクールカウンセラーによる特別支援教育研修を実施	・合理的配慮についての理解や学校に求められる対応等対話による合意形成が重要であることの理解が深まった。 ・ISO研修において、育てたい生徒の姿について全職員で話し合い、今後の本校教育の進むべき方向性の共通理解を図った。 ・支援を必要とする本校生徒について、具体的な支援の方法、関わり方について学べた。
教科指導	中長期的な重点目標の5 「農業・家庭学科においてスペシャリストの育成と地域連携」 (1) 資格、検定、コンクールへの取り組み (2) 農業クラブ・家庭クラブ活動の充実 (3) 県の事業である「若き『匠』育成プロジェクト」、「協創活動支援事業」等の積極的な活用	・アグリマイスター8名、農業クラブ東海大会優秀賞1名、全国大会優秀賞2名 ・全国さんフェアフラワーアレンジメントコンクール優秀賞2名 ・スクールプロジェクト全国大会優秀賞 ・技能五輪「造園」部門で銀メダルを受賞 ・校外マーケットの開催通算100回達成 ・地域連携に関わった生徒満足度97% ・毎日新聞記録賞全国トップテン「優秀賞」	・アグリマイスターや顕彰において多くの生徒が表彰の対象となった。 ・農業クラブ意見発表やプロジェクト研究等、内容の充実やレベルの向上が必要である。 ・技能五輪の上位入賞は、生徒の大きな自信となり受賞生徒は造園業に就き、他の生徒の大きな励みになった。 ・開発商品やオリジナル農産物・加工品は地域住民からの関心が高い。地域住民参加の防災訓練が定着している。 ・地域からの要望過多による調整の困難さ。
生徒指導	中長期的な重点目標の2 「農芸高校生としての誇りを育む指導」 (1) 「挨拶は農芸の心」の徹底指導 (2) 学校行事への参加意欲の向上 (3) 毎朝の登校指導	・挨拶ができていると感じる生徒91% ・言葉遣いができていると感じる生徒80% ・学校行事への満足度87% ・学校環境デーへの生徒参加率75% ・クラブ加入率84% 以上全て達成	・「挨拶は農芸の心」が学校文化として浸透している。今後も指導の継続が大切である。 ・挨拶について教員間に意識の差があるため教員研修等で考え話し合う機会が必要である。 ・学校行事への満足度は高いが受け身的な生徒が多い。
進路指導	中長期的な重点目標の1 「生徒一人ひとりが持つ能力を引き出し希望進路実現につなげる」 (1) 基礎学力テスト、早期からの進路指導 (2) 企業連携、インターンシップの実施 (3) 進学希望者への指導体制の強化	・「ようこそ先輩」就職・進学で2回実施 ・専門学科・コースと2学年全体によるインターンシップを実施 ・全職員による企業訪問。218件実施 ・3学年進路未決定者はなし。 ・国立大学2名、専門分野への進学55名	・「ようこそ先輩」の講話は大変好評 ・就職支援相談員による効果大きい。今後も継続が必要 ・企業連携は強化したいが、予算面で精選せざるをえない。 ・応募前職場見学をより徹底させ、企業とのミスマッチを防ぐ。 ・進学希望者の自主性を育てることが課題

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
組織能力の向上	中長期的な重点目標の4 「人権教育の推進、環境教育の充実、危機管理体制の強化」 中長期的な重点目標の2 「教育相談・特別支援教育の充実」 (1) 組織能力向上のために、教職員研修を数回計画する。	・障害者差別解消法の成立の経緯や理念、法制度の概要についての研修を実施 ・ISO 内部監査、外部監査を実施し再認証審査に合格。全職員のISO研修を実施 ・職員交通安全教育研修を実施 ・スクールカウンセラーによる特別支援教育研修を実施	・合理的配慮についての理解や学校に求められる対応等対話による合意形成が重要であることの理解が深まった。 ・ISO研修において、育てたい生徒の姿について全職員で話し合い、今後の本校教育の進むべき方向性の共通理解を図った。 ・支援を必要とする本校生徒について、具体的な支援の方法、関わり方について学べた。
教科指導	中長期的な重点目標の5 「農業・家庭学科においてスペシャリストの育成と地域連携」 (1) 資格、検定、コンクールへの取り組み (2) 農業クラブ・家庭クラブ活動の充実 (3) 県の事業である「若き『匠』育成プロジェクト」、「協創活動支援事業」等の積極的な活用	・アグリマイスター8名、農業クラブ東海大会優秀賞1名、全国大会優秀賞2名 ・全国さんフェアフラワーアレンジメントコンクール優秀賞2名 ・スクールプロジェクト全国大会優秀賞 ・技能五輪「造園」部門で銀メダルを受賞 ・校外マーケットの開催通算100回達成 ・地域連携に関わった生徒満足度97% ・毎日新聞記録賞全国トップテン「優秀賞」	・アグリマイスターや顕彰において多くの生徒が表彰の対象となった。 ・農業クラブ意見発表やプロジェクト研究等、内容の充実やレベルの向上が必要である。 ・技能五輪の上位入賞は、生徒の大きな自信となり受賞生徒は造園業に就き、他の生徒の大きな励みになった。 ・開発商品やオリジナル農産物・加工品は地域住民からの関心が高い。地域住民参加の防災訓練が定着している。 ・地域からの要望過多による調整の困難さ。
生徒指導	中長期的な重点目標の2 「農芸高校生としての誇りを育む指導」 (1) 「挨拶は農芸の心」の徹底指導 (2) 学校行事への参加意欲の向上 (3) 毎朝の登校指導	・挨拶ができていると感じる生徒91% ・言葉遣いができていると感じる生徒80% ・学校行事への満足度87% ・学校環境デーへの生徒参加率75% ・クラブ加入率84% 以上全て達成	・「挨拶は農芸の心」が学校文化として浸透している。今後も指導の継続が大切である。 ・挨拶について教員間に意識の差があるため教員研修等で考え話し合う機会が必要である。 ・学校行事への満足度は高いが受け身的な生徒が多い。
進路指導	中長期的な重点目標の1 「生徒一人ひとりが持つ能力を引き出し希望進路実現につなげる」 (1) 基礎学力テスト、早期からの進路指導 (2) 企業連携、インターンシップの実施 (3) 進学希望者への指導体制の強化	・「ようこそ先輩」就職・進学で2回実施 ・専門学科・コースと2学年全体によるインターンシップを実施 ・全職員による企業訪問。218件実施 ・3学年進路未決定者はなし。 ・国立大学2名、専門分野への進学55名	・「ようこそ先輩」の講話は大変好評 ・就職支援相談員による効果大きい。今後も継続が必要 ・企業連携は強化したいが、予算面で精選せざるをえない。 ・応募前職場見学をより徹底させ、企業とのミスマッチを防ぐ。 ・進学希望者の自主性を育てることが課題

(2)組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	○「挨拶は農芸の心」を基盤とした生徒指導や毎朝の登校指導による声掛けが生徒の心を開き、教員との信頼関係も築かれている。 ○資格取得等や地域連携の取り組みで、生徒の自尊感情が高まっている。 ○ISO14001の認証取得により教職員の環境教育への意識が高い。ISO研修を通して本校教育のすすむべき方向性を全教職員で共有している。
弱み	○農業・家庭学科の専門教育を実践するための施設が不十分である。(生徒・保護者向け満足度調査でも低い状況である。) ○学校行事や専門学科・コースの多様な取り組み過多による教職員の多忙感の増大。

(3)学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
＜実施回数＞	委員会3回実施
実施内容	○ 8月開催 学校経営の改革方針・年間行事計画を示し意見をいただく。 ○ 12月開催 3年生の進路状況や本年度の教育活動の進捗状況を報告し、意見をいただく。 ○ 3月開催 各分掌から年間の分掌自己評価を報告し、意見をいただく。 ○ 11月の「農芸祭」、3月の「卒業式」に来賓として来校いただき、教育活動の様子を視察していただいた。

(4)学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	○県の様々な事業の活用で、専門教育の充実につながっている。地域連携を学習活動の向上に活用していくことは、学校教育にとどまらず、地域の活性化という視点からも有効な手法である。今後も本校の特色を活かし、精選された地域連携を発展させていくべきである。 ○本校生徒の男女比バランスが偏ってきている。(男子約200名、女子約520名)男子部活動の活性化や農場管理作業への影響があるのではないかと。今後、男子中学生に対して、魅力ある教育活動の展開や学校PRが必要である。 ○多くの同窓会メンバーとの連携が弱い。インターンシップや就職活動において積極的に連携していくべきである。

(5)組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組
より高レベルな農業・家庭学科の専門高校を目指すために、以下の3つのプロジェクトチームを立ち上げ、学校づくりの新たな戦略を確立する。 ○学校の将来構想・展望検討プロジェクト ○専門高校の特色を活かした国立大学・難関私立大学への進学対策プロジェクト ○特別支援教育推進プロジェクト